



家庭版

学校教育だより



第10号

寒川町

教育委員会

令和元年12月

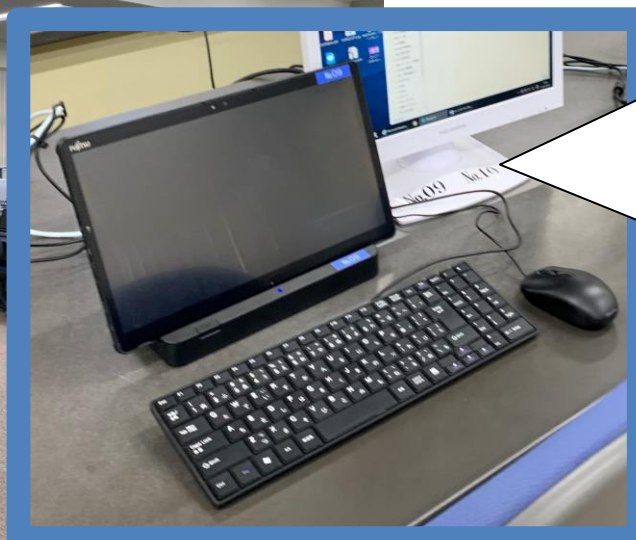
寒川町観光協会からいただいた冬のヒマワリの種が、各学校でPTAや児童生徒の協力により見事な花を咲かせました。花の町寒川といわれるように、今月もシクラメンなど様々な花が店頭にあります。

いよいよ今年も残りわずかになりました。皆様おそろいで素敵な年末年始を迎えてください。



教育長の思うところ

コンピュータ教室に、 タブレットPCが整備されました



こちらが、導入された
タブレットPCです。

【旭が丘中学校のパソコン教室】

これからは、情報を活用する能力を育むことが求められます。町内8校の小・中学校のコンピュータ教室(PC教室)に、タブレット型のPCが導入されました。学習の内容によっては、PC教室だけでなく、教室でも使用することができます。導入されたタブレットPCやプロジェクター、実物投影機といったICT機器を効果的に活用していくことで、「子どもたちの学び」をより一層深めることができると考えます。

町としましても、今後も、充実したICT機器の環境整備に努めていきます。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析結果より

家族との会話を楽しんでいますか？

家の人と学校での出来事について話をしますか

小学校	町	70.5%	国	77.4%	県	76.9%
中学校		66.2%		76.4%		73.2%

平成31年度全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙調査の結果より
 ※数値は、(1. している 2. どちらかといえば している)の合計

これまで同様に、基本的な生活習慣については、保護者の皆様の厚いバックアップによって支えられています。しかし、児童・生徒質問紙調査の「家の人と学校での出来事について話をしますか。」においては、児童・生徒ともに全国や県の平均よりも、低い傾向が見られました。家庭で会話をすることで、お子様の学校での様子や状況について理解することができるだけでなく、考え、表現する場が確保されます。

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか		小学校	中学校
	平成31年度	71.7%	74.5%
	平成29年度	57.3%	69.4%



また、新しい学習指導要領においては、話したり、書いたりするといった、表現活動が重要視されています。寒川の子どもたちが、授業の中で、自分の考えを話したり書いたりすることに熱心に取り組んでいる様子が、上記の児童・生徒質問紙の結果から伝わってきます。しかしながら、各教科の調査結果からは、自分の考えを表現することを苦手としている児童・生徒が多くいることが分かりました。話すときには、人はみな考えることをします。考え、表現する力を育てていくためにも、ご家庭において、お子様と話す機会を設けて、家族でのコミュニケーションの促進を図ってください。

☆内容の詳細については、平成31年年度全国学力・学習状況調査 寒川町調査結果の分析をご覧ください。

- 調査結果・家庭学習の手引き (右QRコードまたは下記URL)

http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/kurashi/yochien/syoutyu_gakkou/



調査結果
家庭学習の手引き

元気の出る明るい学校づくり推進キャラクター 「仲山ちゃん」



* 「家庭版 学校教育だより」についてのお問い合わせは、寒川町教育研究室(0467-73-4639)まで